

2023年06月15日

当院にて子宮内黄体ホルモン放出システム(LNG-IUS)を挿入された患者様へ

当院婦人科では、外来にて子宮内黄体ホルモン放出システム(LNG-IUS)を挿入された患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。

この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシー保護につきましては、法令等を遵守して研究を行います。

本研究への参加を拒まれた場合でも、今後の治療を受ける上で不利な扱いを受けることは決してありません。また、研究に参加することを同意された場合でも、随時これを撤回することができます。同意を撤回する旨の申し出を受けた場合は、遅滞なく研究のデータベースから患者様に関する情報を削除いたします。

資料・情報につきまして、本研究への利用を望まれない場合は、下記研究責任者にご連絡ください。

【研究目的】

子宮内黄体ホルモン放出システム(LNG-IUS)は、低容量エストロゲンプロゲステロン配合薬や黄体ホルモン内服製剤に並ぶ月経困難症や過多月経の治療薬です。2014年に本邦で保険適用となって以来、多くの方が使用されておりますが、その背景や臨床経過についてのまとまった報告が少ない現状であるため、これを検討します。

【研究対象者】

2014年01月以降南多摩病院婦人科外来にて子宮内黄体ホルモン放出システム(LNG-IUS)を挿入された方を対象とします。

【研究に使用する情報】

年齢、妊娠分娩歴、BMI、既往歴、主訴、診断、前治療の有無、挿入後経過と副反応につき得られたデータに基づいて解析を行います。

【個人情報の取り扱い】

個人を特定する情報につきましては匿名化して解析に利用されます。

【本研究の資金源（利益相反）】

利益相反状態とは、「研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断に歪みがおこりかねない状態」をさします。本研究では、研究費等は発生しないため、このような利益相反の状態になることはありません。

【問い合わせ先】

研究責任者：医療法人社団 永生会 南多摩病院 婦人科 紀 美和

住所：〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-10-1

電話番号：042-663-0111

以上